

1. 科目名 (単位数)	教育相談 (カウンセリングを含む) (初等) (2単位)	3. 科目番号	SJMP3314 SJMP3214
2. 授業担当教員	杉浦 貴代子		
4. 授業形態	講義・演習 (ディスカッション、グループ学習)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし。		
7. 講義概要	教育相談とは、幼稚園・小学校や中学校・高等学校など教育現場において、幼児・児童・生徒のこころの問題を扱うだけでなく、幼児・児童・生徒を取り巻く家族や友人状況、地域・家庭の教育力の低下等、家庭や社会環境の変化なども考慮しながら進められていく、教育現場における心理的な支援活動である。本授業では、教師あるいはスクールカウンセラーが行う教育相談活動について、幼児・児童・生徒を理解するために必要な知識や方法およびカウンセリングを含めた実際の介入方法などについて、知識を深めロールプレイや討論も交えながら実践力を身につけることを目的とする。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の意義と目的、内容と領域について理解し、説明することができるようになる。 2. 教育現場における教育相談の基本的視点、展開の方法について理解し、説明や討論 (事例検討も含める) をすることができるようになる。 3. 教育相談を効果的に展開するため、枠組みとなる代表的なカウンセリングの理論と技術について理解し、説明やロールプレイをすることができるようになる。 4. 教育相談の治療的、予防的、開発的側面や現代の諸課題について理解し、説明や討論をすることができるようになる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談でよくある問題についてまとめ、グループ発表をする。 ・レポートを1回、小レポートを2回提出する。テーマは授業中に提示する。 		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 太田光洋編著『保育・教育相談支援』建帛社, 2016。 【参考書】 西本絹子著『教師のための初等教育相談』萌文書林 2015		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の意義と理論を理解し、説明できるか。 2. カウンセリングに関する基礎的・基本的事項を理解し、説明やロールプレイをすることができるか。 3. 教育相談の具体的な進め方やポイントを理解し、組織的な取り組みや他機関との連携の必要性、現代の課題を把握して説明や討論 (事例検討も含める) をすることができるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の学習状況、レポート等を総合して評価する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的参加 (発言、討議、態度、課題シートへの取り組み) 総合点の 50% 2. レポート (小論文、中間レポートを含む) 総合点の 50% 上記のほかに、大学の規定である 3/4 以上の出席が単位取得の条件であることも配慮する。		
12. 受講生へのメッセージ	本講義は教職のための資格科目であり、将来の教育者としての思考力、創造力、問題解決能力を養成し、実践的な理論、技能の獲得を目指している。 教育現場には、いじめや不登校、「気になる子ども」、保護者への対応など、さまざまな問題があり、それに対応するための手段として教育相談は近年一層重視されてきている。学校という組織の中で、また地域資源との連携によって、学校における子どもの問題にどのように対応していけばいいのか、解決を探っていくことのできる教員を目指して学んでいきたい。		
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。 連絡先: kisugiura@ed.tokyo-fukushi.ac.jp 研究室: 7号館別館3階739号室セブンイレブン上		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (シラバスの確認) 教育相談とは何か	事前学習	シラバスを読んでおく。教育に関するニュースの中で関心をもった事柄を整理しておく。
		事後学習	今後の授業内容について理解する
第2回	現代社会と子育て・子育て	事前学習	第1章を読み、重要と思う点に下線を引いておく
		事後学習	現代社会における子育てについてまとめる
第3回	子育て・親育ち支援としての保育・教育相談	事前学習	第2章を読み、重要と思う点に下線を引いておく
		事後学習	親子を支える教育相談について重要と思った点とまとめておく
第4回	相談支援の基盤としての保育と保護者との関係	事前学習	第3章を読み、重要と思う点に下線を引いておく
		事後学習	保護者との信頼関係について重要と思う点をまとめておく
第5回	相談支援の基礎	事前学習	第4章を読み、重要と思う点に下線を引いておく
		事後学習	カウンセリングの技法で重要と思う点をまとめておく
第6回	保育における相談支援	事前学習	第5章を読み、重要と思う点に下線を引いておく
		事後学習	保育の専門性を生かした支援についてまとめる
第7回	地域子育てにおける相談支援	事前学習	第6章を読み、重要と思う点に下線を引いておく
		事後学習	自分の居住地の地域資源について調べてみる
第8回	0・1・2歳児の相談と支援の実際	事前学習	第7章を読み、重要と思う点に下線を引いておく
		事後学習	第7章の事例とその対応を参考に、演習事例への対応を考えてみる

第9回	3・4・5歳児の相談と支援の実際	事前学習	第8章を読み、重要と思う点に下線を引いておく
		事後学習	第8章の事例とその対応を参考に、演習事例への対応を考えてみる
第10回	特別な対応を必要とする子どもや家庭への相談と支援	事前学習	第9章を読み、重要と思う点に下線を引いておく
		事後学習	児童相談所について調べ、まとめておく
第11回	事例検討①	事前学習	第10章を読み、事例①～③について考えてくる
		事後学習	各事例を振り返り、重要と思った点をまとめてくる
第12回	事例検討②	事前学習	第10章を読み、事例④～⑥について考えてくる
		事後学習	各事例を振り返り、重要と思った点をまとめてくる
第13回	事例検討③	事前学習	第10章を読み、事例⑦～⑩について考えてくる
		事後学習	各事例を振り返り、重要と思った点をまとめてくる
第14回	グループ発表① 幼少連携の課題、対応の難しい保護者、不登校 など	事前学習	グループ発表の準備をしてくる
		事後学習	疑問点をまとめ、調べておく
第15回	グループ発表② 場面緘黙、愛着障害（もしくは発達障害）、いじめ など	事前学習	グループ発表の準備をしてくる
		事後学習	疑問点をまとめ、調べておく